

## 平成29年度予算化要望事項

No	要望項目	要望理由	団体	回答	関係課
1	臓器移植街頭キャンペーンへの支援について	臓器移植法が制定された以降も献体移植は伸び悩んでいることから、山梨県腎臓病協議会では県福祉保健部医務課の要望を踏まえ、法の主旨の啓発に従事しているが、社会の関心は薄らいでいる。 そのため、より効果的な広報活動を展開するため、よりPR効果の高い配布物(ヘリウムガス風船、家庭用品、文房具、臓器移植啓発ブックなど)に変えたい。 よって、助成金(30万円)の創設をお願いしたい。	山梨県腎臓病協議会	県補助金の創設は困難ではありますが、別紙2のような基金等の助成制度がありますので、ご活用ください。	医務課 福祉保健 総務課
2	中高生に対する献体移植の啓発・普及活動について	平成28年度に教育委員会の協力により中高生を対象に臓器移植に関する啓発・普及の出前講座や冊子の送付を行うが、次年度からも継続する事業としてほしい。	山梨県腎臓病協議会	「臓器移植」はかけがえのない自他の生命の尊重を考え、生命の大切さを身近な問題として捉えられる題材です。今年度は、県教育委員会と調整し、(公社)日本臓器移植ネットワークが作成した啓発パンフレットを各中学校、高校に配布しました。 今後も、学校における道徳授業や総合的な学習等の教育活動において、県臓器移植コーディネーターを活用した出前講座を継続して実施するなど、中高生の臓器移植に対する関心を高めてまいります。	医務課